



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社  
コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 真紀子

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 大塚 徳明 TEL 03-5579-1837

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	371,657	10.2	33,876	28.5	34,651	30.7	25,879	33.3	20,253	38.9	62,070	68.1
2023年12月期第1四半期	337,217	13.9	26,371	22.0	26,514	23.4	19,411	20.5	14,586	18.1	36,931	△28.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	65.55	—
2023年12月期第1四半期	47.21	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,975,565	1,234,752	1,127,785	57.1
2023年12月期	1,912,415	1,185,027	1,087,370	56.9

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期第1四半期	10,535	△20,918	△11,389	154,595
2023年12月期第1四半期	12,595	△14,198	△17,574	182,145

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,670,000	4.9	149,000	5.1	148,500	4.7	109,000	4.3	84,500	2.1	273.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	309,000,000株	2023年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	148株	2023年12月期	148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	308,999,852株	2023年12月期1Q	308,999,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、真のグローバル飲料企業として持続的な事業成長と企業価値向上を実現すべく“質の高い成長”を目標に掲げています。当連結会計年度に策定した中期経営計画においては、「ブランド戦略」、「事業構造改革」、「DEI（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）」、「サステナビリティ」の4つを重要な戦略テーマに掲げ、積極的に事業を展開しています。

当連結会計年度は、外部環境は引き続き厳しいと想定される中、コアブランドを中心とした積極的なマーケティング活動を展開するとともに、RGM（レベニューグロスマネジメント）活動を強化し、全セグメントで更なる売上収益成長を目指します。

当第1四半期連結会計期間においては、主要国における需要状況を着実に捉え、コアブランド集中活動を徹底したことにより、全セグメントで増収となりました。日本は、好天の影響もあり販売数量が前年同期を上回ったことに加え、価格改定効果も寄与しました。海外は、ベトナムにおける清涼飲料とタイにおける健康食品の販売トレンド回復も寄与し、アジアパシフィックが増収となったことに加え、欧州は、前年同期の暖冬による大幅増収の反動を受ける中、価格改定効果も寄与し前年同期並みで着地し、米州もRGM活動が寄与し増収となりました。

営業利益は、原材料高及び為替変動によるコスト増や、主要国におけるマーケティング費用増が影響しましたが、売上収益の伸長とコストマネジメントの徹底により、グループ合計で増益となりました。

当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～3月31日）の連結売上収益は3,717億円（前年同期比10.2%増、為替中立3.8%増）、連結営業利益は339億円（前年同期比28.5%増、為替中立16.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は203億円（前年同期比38.9%増、為替中立24.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [日本事業]

清涼飲料市場は、引き続き価格改定による需要減少が続く中、好天の影響もあり、当第1四半期連結会計期間の清涼飲料市場（当社推定）は前年同期並みとなりました。

当社販売数量は、清涼飲料市場と同様の影響を受ける中、継続的なコアブランド集中活動の強化、新製品投入、マーケティング活動強化により、前年同期を上回りました。

「サントリー天然水」は、需要が堅調に推移している中、コミュニケーションやマーケティング活動を強化した結果、販売数量が大きく伸長しました。「きりっと果実」シリーズの継続伸長に加え、「特製レモンスカッシュ」や、3月に発売した「FRUIT-SPARK グレフル&レモン」も増分に寄与しました。「BOSS」は、SOT缶が2023年5月からの価格改定の影響を継続して受けたこともあり、前年同期を下回りました。「伊右衛門」は、本体のリニューアル活動により販売トレンドが改善し、コミュニケーションの刷新や「伊右衛門 濃い味（機能性表示食品）」も寄与しました。加えて「特茶」も販売トレンドの好調を維持しています。「GREEN DA・KA・RA」は、本体及び「やさしい麦茶」が3月の天候不順により、前年同期を下回りました。

売上収益は、1～2月の好天による販売数量の増加に加えて、価格改定効果が寄与したことにより、増収となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長とコストマネジメントの徹底により原材料高及び為替変動の影響を吸収し、大幅増益となりました。

日本事業の売上収益は1,533億円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は78億円（前年同期比116.7%増）となりました。

[アジアパシフィック事業]

アジアパシフィックでは、清涼飲料事業及び健康食品事業のコアブランド集中活動を継続しました。ベトナムの清涼飲料事業と健康食品事業は継続的なマーケティング活動も寄与し、販売トレンドが回復してきたことに加え、タイ及びオセアニアの清涼飲料事業が堅調に推移しました。

売上収益は、主要事業における販売数量の伸長により、増収となりました。

セグメント利益については、増収効果に加え、原材料等のコスト増の影響が減少したこともあり、増益となりました。

清涼飲料事業では、ベトナムは、景気が緩やかに回復する中、主力ブランドの「PEPSI」及び「Aquafina」が好調に推移し、販売数量が伸長しました。タイは低糖製品を含めた「PEPSI」及び「TEA+」が好調に推移し、販売数量が伸長しました。オセアニアでは、エナジーカテゴリーの競争が激しい状況の中、主力ブランドであるエナジードリンク「V」のマーケティング活動を強化した結果、販売数量は前年同期を上回りました。

健康食品事業では、需要が回復してきている中、コミュニケーション刷新やマーケティング活動強化により「BRAND'S Essence of Chicken」の販売トレンドが回復してきたことに加え、「BRAND'S Bird's Nest」がインバウンド需要の回復に伴い販売数量が大きく前年同期を上回りました。

アジアパシフィック事業の売上収益は997億円（前年同期比10.9%増、為替中立3.0%増）、セグメント利益は136億円（前年同期比15.4%増、為替中立7.6%増）となりました。

[欧州事業]

欧州では、景況感の悪化、前年同期の暖冬による販売数量増の反動もあり、フランス、英国、スペインともに販売数量が前年同期をわずかに下回りましたが、売上収益は、価格改定を含めたRGM活動が寄与し、前年同期並みとなりました。

セグメント利益については、マーケティング費用の増加も影響し、減益となりました。

主要国別には、フランスでは、競争環境の激化及び景気低迷の影響を受ける中、コアブランド集中活動の徹底により「Oasis」及び「Schweppes」が伸長しました。英国では、ストライキの影響を受けましたが、主力ブランド「Lucozade」が堅調に推移しました。スペインでは、前年同期の暖冬による販売数量増の反動を受ける中、主力製品の「Schweppes」にて積極的な販促活動を行いました。販売数量はわずかに前年同期を下回りました。

欧州事業の売上収益は786億円（前年同期比14.6%増、為替中立0.2%増）、セグメント利益は118億円（前年同期比12.7%増、為替中立2.3%減）となりました。

[米州事業]

米州では、堅調な需要が継続する中、主力炭酸カテゴリー及び非炭酸カテゴリーのマーケティング活動を強化したことに加え、「Gatorade」の販路拡大も寄与し、販売数量は堅調に推移しました。

売上収益は、価格改定を含めたRGM活動も寄与し、増収となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長により、原材料価格並びに物流費及び人件費高騰の影響を吸収し、増益となりました。

米州事業の売上収益は401億円（前年同期比21.8%増、為替中立8.4%増）、セグメント利益は43億円（前年同期比13.6%増、為替中立1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、有形固定資産、無形資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ632億円増加して1兆9,756億円となりました。

負債は、繰延税金負債、その他の金融負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ134億円増加して7,408億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ497億円増加して1兆2,348億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ172億円減少し、1,546億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益347億円、減価償却費及び償却費184億円等に対し、棚卸資産の増加78億円、仕入債務及びその他の債務の減少180億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ21億円減少し、105億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出233億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ67億円増加し、209億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払124億円、リース負債の返済による支出31億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ62億円減少し、114億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想については、2024年2月15日に発表しました連結業績予想から変更ありません。不確実性の高い状況が継続するとの想定のもと、引き続き、全セグメントでのコアブランド集中活動、SCM活動を含めたコストマネジメントの徹底等、やるべきことをやりぬき、業績予想の達成に向けて着実に取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	171,755	154,595
売上債権及びその他の債権	309,923	317,889
その他の金融資産	1,664	3,140
棚卸資産	115,967	126,668
その他の流動資産	28,175	34,083
小計	627,486	636,378
売却目的で保有する資産	11,421	3,295
流動資産合計	638,907	639,674
非流動資産		
有形固定資産	416,600	436,552
使用権資産	51,891	59,083
のれん	278,231	283,223
無形資産	495,339	516,979
持分法で会計処理されている投資	114	507
その他の金融資産	14,482	14,578
繰延税金資産	8,969	16,661
その他の非流動資産	7,878	8,305
非流動資産合計	1,273,507	1,335,891
資産合計	1,912,415	1,975,565

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	49,431	54,159
仕入債務及びその他の債務	430,812	424,220
その他の金融負債	22,982	23,367
未払法人所得税等	19,926	15,931
引当金	1,403	1,184
その他の流動負債	6,100	9,064
小計	530,656	527,927
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	5,073	—
流動負債合計	535,730	527,927
非流動負債		
社債及び借入金	25,000	25,673
その他の金融負債	45,472	52,892
退職給付に係る負債	14,323	14,705
引当金	6,068	6,898
繰延税金負債	93,954	105,524
その他の非流動負債	6,838	7,189
非流動負債合計	191,657	212,885
負債合計	727,388	740,812
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,229	182,229
利益剰余金	652,706	660,607
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	84,050	116,564
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,087,370	1,127,785
非支配持分	97,656	106,967
資本合計	1,185,027	1,234,752
負債及び資本合計	1,912,415	1,975,565

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
売上収益	337,217	371,657
売上原価	△212,967	△232,465
売上総利益	124,249	139,191
販売費及び一般管理費	△97,960	△106,000
持分法による投資損益	507	416
その他の収益	660	1,660
その他の費用	△1,086	△1,391
営業利益	26,371	33,876
金融収益	797	1,780
金融費用	△655	△1,005
税引前四半期利益	26,514	34,651
法人所得税費用	△7,102	△8,772
四半期利益	19,411	25,879
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,586	20,253
非支配持分	4,824	5,625
四半期利益	19,411	25,879
1株当たり四半期利益(円)	47.21	65.55

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	19,411	25,879
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	△88	72
確定給付制度の再測定	△3	△26
純損益に振り替えられることのない項目合計	△92	45
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	17,476	35,448
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	104	626
持分法投資に係る包括利益の変動	32	69
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	17,613	36,145
税引後その他の包括利益	17,520	36,191
四半期包括利益	36,931	62,070
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	30,592	52,774
非支配持分	6,339	9,295
四半期包括利益	36,931	62,070

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年1月1日	168,384	182,229	594,773	△0	19,834	965,220	94,883	1,060,104
四半期利益			14,586			14,586	4,824	19,411
その他の包括利益					16,006	16,006	1,514	17,520
四半期包括利益合計	—	—	14,586	—	16,006	30,592	6,339	36,931
配当金			△12,668			△12,668	15	△12,653
所有者との取引額合計	—	—	△12,668	—	—	△12,668	15	△12,653
2023年3月31日	168,384	182,229	596,690	△0	35,840	983,144	101,238	1,084,382

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年1月1日	168,384	182,229	652,706	△0	84,050	1,087,370	97,656	1,185,027
四半期利益			20,253			20,253	5,625	25,879
その他の包括利益					32,521	32,521	3,669	36,191
四半期包括利益合計	—	—	20,253	—	32,521	52,774	9,295	62,070
配当金			△12,359			△12,359	△51	△12,411
非支配持分との取引 利益剰余金への振替			6		△6	—	66	66
所有者との取引額合計	—	—	△12,353	—	△6	△12,359	15	△12,344
2024年3月31日	168,384	182,229	660,607	△0	116,564	1,127,785	106,967	1,234,752

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	26,514	34,651
減価償却費及び償却費	17,927	18,373
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	128	32
受取利息及び受取配当金	△799	△980
支払利息	325	979
持分法による投資損益(△は益)	△507	△416
棚卸資産の増減額(△は増加)	△15,252	△7,750
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	7,559	1,037
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△10,155	△17,962
その他	△3,171	△4,962
小計	22,568	23,001
利息及び配当金の受取額	397	833
利息の支払額	△426	△437
法人所得税の支払額	△9,943	△12,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,595	10,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△14,739	△23,291
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	99	1,323
事業譲渡による収入	474	—
子会社の売却による収入	—	991
その他	△32	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,198	△20,918
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△809	4,206
長期借入金の返済による支出	—	△35
リース負債の返済による支出	△3,650	△3,149
配当金の支払額	△12,668	△12,359
非支配持分への配当金の支払額	△446	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,574	△11,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,177	△21,771
現金及び現金同等物の期首残高 (連結財政状態計算書計上額)	200,630	171,755
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び 現金同等物の振戻額	—	1,301
現金及び現金同等物の期首残高	200,630	173,057
現金及び現金同等物の為替変動による影響	692	3,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	182,145	154,595

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。